

〈第一部〉

医療過誤原告の会  
第26回定期総会  
記念シンポジウム

主催 ● 医療過誤原告の会

共催 ● 医療の良心を守る市民の会

後援 ● 患者の視点で医療安全を考える連絡協議会

日時 ● 2017年12月3日（日）

会場 ● 東京・御茶ノ水 全労連会館ホール

# 〈第一部〉医療過誤原告の会 第26回定期総会 記念シンポジウム

主催者挨拶 宮脇正和（医療過誤原告の会 会長）

■医療事故被害報告……………6

小川和宏（医療過誤原告の会・会員 金沢大学医学系准教授）

■基調講演……………14

「群馬大学附属病院事故を取材して」……………14

高梨ゆきこ（『大学病院の奈落』著者 読売新聞記者）

「大学病院医療事故・再発防止と被害者の役割」……………22

勝村久司（医療情報の公開・開示を求める市民の会代表世話人）

「群馬大学病院事故・遺族の思いを受け止めて」……………30

梶浦明裕（群馬大学病院被害者対策弁護団事務局長 弁護士）

「画像診断書見落とし事故、

病院の対応と被害者の思い」……………37

宮脇正和（医療過誤原告の会 会長）

●シンポジウム……………42

「なぜ大学病院で医療事故が繰り返される？」

——群大事故の事例から

シンポジスト 高梨ゆきこ／勝村久司

梶浦明裕／宮脇正和

木村豊（群馬大学病院事故遺族会 代表）

コーディネーター 永井裕之（医療の良心を守る市民の会 代表）

閉会挨拶 永井裕之

司会 町田和江（医療過誤原告の会 役員）